

翠町学区社会福祉協議会だより

～「笑顔とあいさつのまち」をめざして～

編集・発行

翠町学区社会福祉協議会

会長/ 鶴見 和 夫

編集/ 佐 田 弘 志

新 年 の ご あ い さ つ

翠町学区社会福祉協議会会長

翠町西部町内会会長 鶴見 和 夫



明けましておめでとうございます。

昨年は日本全国が自然災害により多くの犠牲者が出ました。特に広島市では、安佐南区・安佐北区の土砂災害で74名の尊い人命が亡くなり、未だ多くの被災者が苦しんでおられます。

災害はいつ起こるかわかりません、いざという時にどうしたら家族の安全を守れるか、近隣の人々と助け合えるかが問われる昨今です。

「未」の字は木の枝が伸びきらずにいる部分を描いたものと言われています。未(ひつじ)年は、だから未完成から完成に向けて進む希望の年だそうです。

昭和23年以降で広島市内に火災で亡くなられた人は昨年過去最多でした。その五割以上が高齢者です。また刑法犯罪者は少なくなったとはいえ、相変わらず児童の登下校時や婦人に対する不審者の声かけは各地で多発しています。

平成22年に作成しました「翠町学区まちづくり計画」も今年度で終了します。5年間を総括して学区町民の皆様とどう心を繋げていけるか検討しなければなりません。

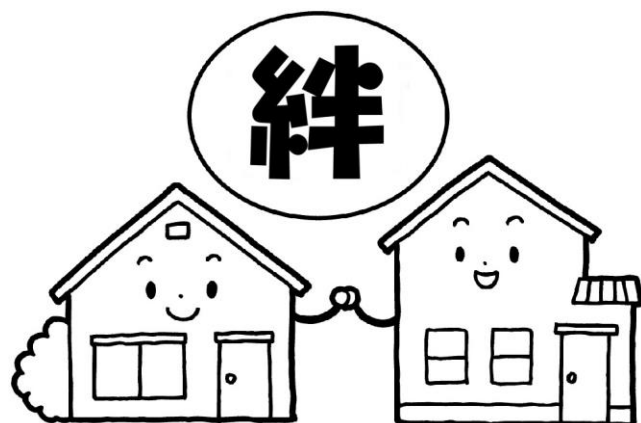
近年高齢化は急激に進み、一人暮らしの人・介護を必要とする人々が増えてまいりました。弱者に寄り添っていける体制作りは行政の責務ではありますが、財政面・人的面で追いついていけないのが現状です。

人生の目的は何でしょうか、人によって考え方は違うでしょうが、私は幸福ではないかと思っています。

健康・長寿の人生もあるでしょう。社会福祉について先日、広島文教女子大学の菅井教授は「ふ」とは普通の、「く」とは暮らし、「し」したい。普通の暮らしをしたい。これが幸せだと言われていました。

それを見守り支え合う町、総論賛成、各論消極的なのが今の時代風潮です。しかし広島市の土砂災害でも東日本の大震災に於いてもボランティア活動、近隣の人々との助け合いを見て感動いたします。

必ず人の為に尽くしたいと思う人はいます。皆さんが希望に満ちた一年で、躍進の一年でありますよう心からお祈りいたします。



翠町東部町内会のご紹介

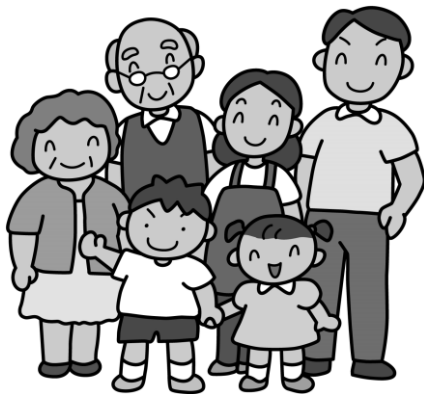
翠町東部町内会会長 渡辺 好造



今回は、町内会のことを私が感じるままにご紹介させていただきたいと思います。

私たちの町内会は、約 1, 100 世帯で組織されていますが、会員数は年々微減の状態です。

このため、色々と町内会加入策を講じてはいますが、未だ良い結果には至っていません。



町内会の特徴的な取組は、

- ① 敬老会をプリンスホテルで祝っていること。
- ② 町内会親睦旅行は深入山
いこいの村で楽しく行っていること。
- ③ 年末は三世代の夜警を実施していること。
- ④ 町内には 3 つの花壇があること
などです。町内会の目下の課題は、役員に
高齢化の波が少しずつ訪れてきており、一
人でも多くの若い役員が誕生することを待
ち望んでいることです。

新しい年を迎えて

翠町学区子ども会育成協議会会長 松岡 孝雄

あけましておめでとうございます。

まず、昨年 8 月に安佐南区八木地区の水害で被害に合われた皆様にお見舞い申し上げます。

子ども会では、年間を通した活動として男子のソフトボール、女子のフットベースボールのスポーツ活動、オカリナ教室の文化活動、そして年 1 回の活動として夏季球技大会、とんど祭りの様な活動をしています。

私は子ども達にこれらの活動を通じて学年を越えた友達作りや思い出作りの一つになればと思っています。

最後になりましたが、1 人でも多くの子ども達に子ども会に入ってもらい、小学校を卒業する時には「子ども会に入ってよかった」と思ってもらえる子ども会にしたいと思いますので、宜しくお願いします。



とんどの様子

1 人親家庭への支援をご存知ですか

翠町母子会（翠桐会）会長 渡部 徳代

昨年は 10 月 1 日、母子及び寡婦福祉法の改正により「母子及び父子並びに寡婦福祉法」に改称されました。関係各組織名は順次「父子」を加えたものになります。

広島市母子寡婦福祉連合会は生活上の困難を抱える一人親家庭を支援する事業を行っています。就労支援・生活支援・子育て支援等の事業案内がその都度「市民と市政」に掲載されますので是非御利用ください。

また南区内の行事もありますので、入会され年に一度でも参加されてひと息ついて下さることを願っています。

今年度は、食事会、ボウリング、ナイター、宮島水族館、観劇会、プラネタリウム、研修会等で交流しています。是非ご入会ください。



研修旅行にて

私たちの地域づくり

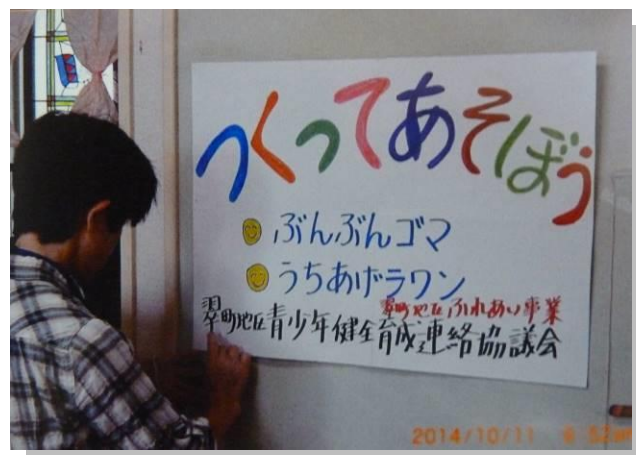
翠町地区青少年健全育成連絡協議会会長 中本 健治

翠町地区では 6 名の青少年指導員が活動しています。主に通学路や公園などを定期的に巡回し、子どもたちの下校や遊びを見守り、声をかけをしながら安全に安心をして過ごせるように心がけています。また、地域の様々な行事に参加している子どもたちが楽しく活動できるように支援しています。

昨今、青少年を取り巻く環境には心配な事件や事故が多発しており、大変危惧しています。

私たち大人だけでは目ざす地域づくりはできません。元気な大人から子どもらに元気を伝え、子どもらの活力から元気をもらう、というひびき合う間柄をつくっていきたいと考え、今年も頑張ります。

あいさつや声かけが飛び交う地域に！と願っています。



ふれあい事業の様子

翠町学区町民作品展の開催

翠町学区町民作品展実行委員会副委員長 米田 勁 草

昨年 11 月 8 日(土)・9 日(日)に第 2 回「翠町学区町民作品展」を翠町会館で開催しました。

平成 22 年 3 月に策定した「翠町学区まちづくり計画」に掲げられている文化祭の一環として、コミュニティを振興し地域を活性化するために取り組んでいます。

今回は出品者も増え、51 名の方から絵画・書・写真・陶芸・手工芸などの力作が寄せられ、また翠町小学校(6 名)、中学校(5 名)、県立広島大学(4 名)の特別出品があり、多彩で見応えのある作品展となり、大変好評でした。

日曜日に雨に降られましたが、300 人

の来場者があり、皆様から楽しかったとか、是非継続してほしいという声をいただき、実行委員会の一員として大変心強く、嬉しく思っております。



昨年の町民作品展の様子

こんにちは 民生委員・児童委員(主任児童委員)です

翠町学区民生委員児童委員協議会会長 品川 正 則

わたしたちは社会福祉・子育てに関する地域の身近な相談相手です。皆様がお困りの時の相談に応じて、必要なサービスが受けられるよう、関係機関とのつなぎ役になります。

翠町学区は、17 人が担当区域内に配置されており、児童委員を兼ねています。

また、2 人の主任児童委員は、児童に関することを中心に活動しています。厚生労働大臣から委嘱されている民生委員児童委員には守秘義務があり、個人情報やプライバシーに配慮した支援活動を行っていますので、安心してご相談ください。

なお、あなたの居住区域を担当する民生委員・児童委員についてのお問い合わせは、

251-4302 (品川) まで

お電話ください。

